



園だより

2023. 10月

認定こども園 下関短期大学付属第二幼稚園
山口県下関市彦塩浜町2丁目2-21 ☎ 083(266)5821

運動会、熱い声援をお願いします

先日までの暑さが嘘のように急に涼しい日に変わるときもあり、体調を崩す子が出始めました。市内では新型コロナと同時にインフルエンザも流行り始めています。園では今のところ流行しているものはありません。このまま運動会の日までみんな元気に過ごしてほしいと願っています。ホームページで毎日感染症情報を更新していますので、もしかかりつけ医で園での感染状況を聞かれましたら、保護者専用サイトでご確認ください。



さて、今年度の運動会では3年ぶりに卒園児のための種目を設けました。しかも、これまで新型コロナの影響で運動会の案内をすることができなかつた小学校3年生まで、市外、県外問わず全員に声を掛けています。総勢75名、すでに半数近くの卒園児から参加の連絡が届いています。当日は、小学生であれば何年生でも参加ができます。種目名は「どうする小学生～パン食い？競走～」。小学生の圧巻のスピードと身のこなしを、園児たちはあこがれの眼差しで見入ることと思います。

また、今年度はご来賓としてお招きする方も増やしました。昨年度は第二幼稚園の評価委員さん2名だけでしたが、10名の方が園児の応援に駆けつけてくださいます。

彦島第五自治連合会長：賀川恵市 様	塩浜町2丁目自治会長：山本國光 様
向井小学校長：早田智博 様	園評価委員(元第二幼稚園長)：堀野留美子 様
園評価委員(市教委教育委員)：佐々木 猛 様	前年度までの職員：新田明日香 様
前年度までの職員：新田淳子 様	前年度までの職員：野口 恵 様
下関短期大学 藤澤正信学長	下関短期大学 山本正俊保育学科長

さらに、今年度は下関短期大学の学生にもボランティアとして手伝いをお願いしたところ、5名の学生が名乗りを上げてくれました。ありがたいことです。

当日は、久しぶりに賑やかな運動会になりそうです。子どもたちは高揚感・緊張感こもごもの感情に包まれることでしょう。

行事を通して子どもはひと回りもふた回りも成長すると言われています。その理由はいろいろありますが、一つは、行事に向けてたくさん練習や努力を重ねるからです。そして、その過程において力を伸ばし自信がつくからです。日本を代表するサッカー選手、本田圭祐氏は現役時代、インタビューで「だれでも努力すれば結果は得られますか」と尋ねられたとき、こう答えたそうです。

「結果にこだわってはいけません。成功にもこだわってはいけません。成長にこだわってください。」とかく結果をすぐに求めてしまいがちですが、一つ一つの積み重ねによる成長が大事なのです。

行事が子どもを成長させる二つ目の理由は、応援です。大勢の人たちの注目と声援を浴びて、練習のときには感じなかった強い緊張感に押しつぶされそうになりながらも、一生懸命競技・演技をする。そして結果はどうであれ、がんばったことに対しご家族の皆さんからたくさん誉めてもらえる。このような経験は、次への意欲に必ずつながります。応援されていると肌で感じることができるのが行事です。オリンピック選手の多くが本番で自己ベストを出します。彼らは口々に大観衆の声援に背中を押していただいたと言っています。

アジア大会、ラグビーW杯を始め、スポーツは今様々な大会が行われて盛り上がっています。本園のちびっ子たちも負けず劣らず、当日はグラウンドで大いに暴れてくれることと思います。声出し応援も解禁となりました。わが子はもちろんのこと、がんばっているすべての子に大声援で背中を押してあげてください。(園長 寺本 明生)